

## 11 月度の市場動向について

### 長期投資家の皆さまへ

コロナ禍における主要国揃っての金融緩和で溢れたマネーは、金利が消失した債券市場ではリターンを得られず株式市場に流入する。こうした余剰マネーの金融市場の実状が世界の株価を一方向で押し上げた 11 月でした。月次ベースでは代表的な世界株価指数 MSCI オールカントリー・ワールド・インデックス (ACWI・米ドル) が 12% 高と過去最大の上昇率を記録し、日米欧先進国でも軒並み記録的上昇が相次ぎました。上昇トレンドに勢いをつけたのが新型コロナへのワクチン開発進展で、マーケットはいち早くワクチン普及後のアフターコロナにおける景気急回復期待を一気に織り込んだ動きと言えましょう。今般の動きはコロナ禍で事業機会を伸ばしてきた IT ハイテク系銘柄の成長期待ではなく、経済活動全体の再開を想定したあらゆる産業のリバウンドが前提での、マーケット全体が買われる超楽観相場であり、それだけに上げ足も加速して早くなったでしょう。

市場全部が上がる買い安心相場は、反動による調整局面への転換可能性を高めます。世界中が未だコロナ禍の感染再拡大の最中で、欧米主要都市で活動制約が再開されていて、経済活動は明らかに回復基調が急激に損なわれてきています。つまり現状の実体経済と近い将来を楽観一辺倒で織り込むマーケットとの乖離はより顕著となっていて、感染状況の更なる深刻化やワクチン成果の遅れなどのマイナス要因が台頭すれば、マネーフローは一気に逆回転することも想定しておく必要があります。

市場の行き過ぎた楽観も悲観も決して長続きはしません。歴史的には揺り戻しも必然と言えましょうか。とは言え、マーケットの勢い (モメンタム) がどこまで続くのかも先んじては誰にもわからないもので、長期投資家にとっては、アフターコロナの先に構築されるであろうメガトレンドを見据えて、足元の相場のムードにとらわれない視線を保つことが大切な時です。「セゾン号」は目先の相場急騰にも焦らず、反動の調整相場でも決して慌てることなく、大局観に則った長期投資を続けていくのみです。

代表取締役会長 CEO 中野 晴啓

### 今月の市場動向

#### 世界の株式市場についての概況

世界の株式市場は、上昇しました。

序盤、米大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が優勢となり、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らいだほか、英国やオーストラリアの中央銀行が金融緩和の拡大を決定したことを受けて上昇しました。

中盤にかけて、世界的に新型コロナウイルスの感染者数が増加したものの、米大統領選挙でバイデン前副大統領が勝利宣言したことを受けて米国の通商政策が安定するとの期待が高まったほか、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示し、経済活動の正常化への期待が高まったことで景気循環株などを中心に上昇基調が継続しました。

中盤、世界的に新型コロナウイルスの感染者数の増加傾向が継続したものの、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けて上昇基調が継続しました。

終盤、バイデン次期米国大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、米国政治の不透明感が後退したほか、フランスやオーストラリアなどで新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するための制限措置の緩和が発表され、リスク選好の姿勢が強まったことを受けて上昇しました。

#### 11 月度の商品価格の動向

	終値	騰落率
NY 原油先物 (WTI/直近限月) /1 バレル	45.34	+26.68%
NY 金先物 (中心限月) /1 トロイオンス	1780.9	-5.63%

米大統領選挙で、パリ協定への復帰を掲げるバイデン前副大統領の当選が確実となったことを受けて、気候変動を抑制するために、世界の主要国が協働して取り組むことへの期待が高まっています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## 11 月度の市場動向について

## 米国株式

米国の株式市場は、上昇しました。

序盤、大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が優勢となり、大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らぐなかで堅調に推移しました。ISM 製造業景況指数や雇用統計の雇用者数の増加が市場予想を上回ったほか、失業率が大きく低下したことも支援材料となりました。

中盤にかけて、新型コロナウイルスの感染者数が増加したものの、大統領選挙でバイデン前副大統領が勝利宣言したことを受けて通商政策が安定するとの期待が高まったほか、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示し、経済活動の正常化への期待が高まったことで景気循環株などを中心に上昇基調が継続しました。

中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けて一段と上昇したものの、その後、新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、移動制限措置の導入により景気回復ペースが鈍化するとの警戒が強まり下落しました。

終盤、バイデン次期大統領がイエレン前連邦準備制度理事会（FRB）議長を財務長官に指名する計画だと明らかになり、FRB や金融機関との円滑な連携で景気を下支えするとの期待が高まったほか、バイデン次期大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、政治の不透明感が後退したことを受けて S&P500 が過去最高値を更新するなど上昇しました。

## 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
ダウ・ジョーンズ工業株価平均（米ドル）	29638.64	+11.84%
S&P500（米ドル）	3621.63	+10.75%
ナスダック総合指数（米ドル）	12198.74	+11.80%

2020年10月の小売売上高は、前月比で+0.3%と6ヵ月ぶりの低い伸びとなり、新型コロナウイルスの感染が再び拡大し、追加の景気対策が打ち出されないなか、消費者が慎重な姿勢を強めつつあることが示されました。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## 欧州株式

欧州の株式市場は、上昇しました。

序盤、米大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が優勢となり、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らぐなかで上昇しました。英国の株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて英国議会が12月2日までイングランド地方を都市封鎖（ロックダウン）すると決定したものの、英国政府が支援策を発表したほか、イングランド銀行（中央銀行）が量的緩和の拡大を決定したことを受けて上昇しました。

中盤にかけて、米大統領選挙でバイデン前副大統領が勝利宣言したことを受けて、米国の通商政策が安定するとの期待が高まったほか、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示し、経済活動の正常化への期待が高まったことで景気循環株などを中心に一段と上昇しました。

中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けて上昇基調が継続しました。

終盤、ドイツで制限措置の延長が決まったものの、米国政治の不透明感が後退したほか、フランス政府が都市封鎖を段階的に緩和すると発表したことを受けて上昇しました。

## 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
独 DAX 指数（ユーロ）	13291.16	+15.01%
仏 CAC 指数（ユーロ）	5518.55	+20.12%
英 FT100 指数（英ポンド）	6266.19	+12.35%
スイス SMI 指数（スイスフラン）	10476.43	+9.28%
MSCI Europe 指数（ユーロ）	129.14	+13.82%

2020年11月のドイツ欧州経済センター（ZEW）景気期待指数は、新型コロナウイルスの感染再拡大や英国の欧州連合（EU）離脱を巡る不透明感などを背景に今年4月以来の低水準となり景気の先行きに対する不透明感が強まっています。



## 11 月度の市場動向について

### 日本株式

国内の株式市場は、上昇しました。

序盤、米大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が優勢となり、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らいだほか、菅首相が予算委員会で鉄道や航空会社に支援を行う姿勢を示したことを受けて上昇しました。トヨタ自動車や任天堂が今期の営業利益計画を上方修正したことも支援材料となりました。

中盤にかけて、米大統領選挙でバイデン前副大統領が勝利宣言したことを受けて、米国の通商政策が安定するとの期待が高まったほか、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示し、経済活動の正常化への期待が高まったことで景気循環株などを中心に上昇基調が継続しました。

中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が、最終段階の治験で有望な結果を示したほか、7-9 月期の国内総生産（GDP）が市場予想を上回ったことを受けて一段と上昇しました。その後、国内の新型コロナウイルスの一日当たりの新規感染者数が過去最多となったことを受けて景気の先行きに対する不透明感が強まり、上昇幅を縮小しました。

終盤、国内で新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念が燻っているものの、バイデン次期米国大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、米国政治の不透明感が後退したことなどを受けて上昇しました。

### 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
日経平均株価指数（円）	26433.62	+15.04%
TOPIX[東証株価指数]	1754.92	+11.12%
MSCI Japan 指数（円）	1073.47	+12.19%

2020 年 7-9 月期国内総生産（GDP）は、外出自粛の反動や政府による支援策の効果で個人消費が増加したほか、中国や米国向けの自動車関連の輸出が増加し、前期比年率で+21.4%と大幅な伸びを記録しましたが、依然として 1-3 月期の水準を下回っています。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

### 太平洋株式（日本を除く）

太平洋地域（日本を除く）の株式市場は、上昇しました。

序盤、米大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が優勢となり、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らいだほか、オーストラリア準備銀行（中央銀行）が政策金利の引き下げと量的緩和の拡大を決定したことを受けて上昇しました。

中盤にかけて、米大統領選挙でバイデン前副大統領が勝利宣言したことを受けて、米国の通商政策が安定するとの期待が高まったほか、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示し、経済活動の正常化への期待が高まったことで景気循環株などを中心に一段と上昇しました。ワクチンの早期実用化への期待が高まったことで需要が回復するとの見方が広がり、原油や鉄鉱石価格が上昇したこともオーストラリアの株式市場の支援材料となりました。

中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したほか、オーストラリアの雇用統計で就業者数が市場予想に反して大幅に増加したことを受けて上昇基調が継続しました。

終盤、バイデン次期米国大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、米国政治の不透明感が後退したことなどを受けて上昇しました。オーストラリアの株式市場は、最も人口が多いニューサウスウェールズ州などで制限措置が緩和されると発表されたことも上昇要因となりました。

### 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Pacific ex-Japan 指数（米ドル）	1366.03	+14.39%
S&P/ASX200 指数（豪ドル）	6517.807	+9.96%
香港ハンセン指数（香港ドル）	26341.49	+9.27%
シンガポール ST 指数（シンガポールドル）	2805.95	+15.76%

2020 年 10 月の豪雇用統計は、ビクトリア州で新型コロナウイルスの感染拡大防止のための厳しい制限措置が緩和されたことなどを受けて、雇業者数が市場予想に反して増加し、労働市場の回復の兆しが見られました。

### 新興国株式

新興国の株式市場は、上昇しました。

序盤、米大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が優勢となり、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らぐなかで堅調に推移しました。中国の財新製造業購買担当者景気指数（PMI）のほか、韓国やインドの製造業 PMI が市場予想を上回ったことも支援材料となりました。

中盤にかけて、米大統領選挙でバイデン前副大統領が勝利宣言したことを受けて、米国の通商政策が安定するとの期待が高まったほか、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示し、経済活動の正常化への期待が高まったことで景気循環株などを中心に一段と上昇しました。ロシアの株式市場は、ワクチンの早期実用化への期待が高まったことで需要が回復するとの見方が広がり、原油価格などが上昇したことも支援材料となりました。

中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けて上昇基調が継続しました。中国や日本を含む 15 カ国が東アジア地域包括的経済連携（RCEP）に署名し、世界の国内総生産（GDP）の約 3 割を占める自由貿易圏が発足する見通しとなったことも上昇要因となりました。

終盤、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待が継続するなか、バイデン次期米大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、米国政治の不透明感が後退したことを受けて韓国の株式市場が過去最高値を更新するなど上昇しました。中国の株式市場は、バイデン政権に移行後も米国の対中政策に大きな変更はないとの見方があるほか、中国当局が品質低下や生産過多を警戒して電気自動車（EV）セクターの過剰投資の調査を行っていることと報じられたことを受けて力強さを欠く展開となりました。

### 11 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Emerging 指数（米ドル）	1205.07	+9.21%
ブラジルボベスパ指数（ブラジルレアル）	108893.3	+15.90%
中国上海総合指数（中国元）	3391.755	+5.19%
韓国総合株価指数（韓国ウォン）	2591.34	+14.30%
台湾加権指数（台湾ドル）	13722.89	+9.38%
ロシア RTS 指数（米ドル）	1281.97	+20.19%
S&P/BSE SENSEX 指数（インドルピー）	44149.72	+11.45%
南アフリカ全株指数（南アフリカランド）	57091.89	+10.46%

2020 年 10 月の中国の鉱工業生産は、政府による景気刺激策や堅調な輸出に支えられて前年同期比で 6.9%増と市場予想を上回る伸びを記録したほか、小売売上高も国慶節の連休期間中の消費が堅調であったことを受けて 3 ヶ月連続で前年を上回り、新型コロナウイルスの感染が抑制されるなかで、中国経済の回復が順調に進んでいることが示されました。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



セゾン投信

## 11 月度の市場動向について

### 世界の債券市場についての概況

米国の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。大規模な追加経済対策への期待が後退して国債の大量発行への懸念が和らいだほか、米国で新型コロナウイルスの感染者数が増加したことを受けて安全資産としての需要が高まり上昇しました。ユーロ圏の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。欧州で新型コロナウイルスの感染者数が増加したほか、欧州中央銀行（ECB）の追加金融緩和に対する期待を背景に上昇しました。日本の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。国内で新型コロナウイルスの感染者数が増加したことを受けて景気の先行きへの不透明感が強まり上昇しました。

### 米国債券市場（国債）

米国の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。

序盤、大統領選挙で民主党のバイデン前副大統領が接戦を制する一方で上院の過半数を共和党が獲得してねじれ議会になるとの見方が広がり、大規模な追加経済対策が行われるとの観測が後退して国債の大量発行への懸念が和らいだことを受けて上昇しました。中盤にかけて、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けてリスク選好の姿勢が強まり下落しました。中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したものの、新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、移動制限措置の導入により景気回復ペースが鈍化すると警戒が強まり上昇しました。終盤、バイデン次期大統領がイエレン前連邦準備制度理事会（FRB）議長を財務長官に指名する計画だと明らかになり、FRB や金融機関との円滑な連携で景気を下支えすると期待が高まったほか、バイデン次期大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、政治の不透明感が後退したことを受けて下落しました。

### 11 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
米 10 年国債	0.839%付近	-0.035%

### 欧州債券市場（国債）

ユーロ圏の債券市場は、ドイツ国債やフランス国債が下落したものの、イタリア国債などが堅調となったことを受けて上昇しました（金利は低下）。

序盤、新型コロナウイルスの感染者数の増加に伴う移動制限措置などの強化を受けて安全資産への需要が高まり上昇しました。中盤にかけて、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けてリスク選好の姿勢が強まり下落しました。中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したものの、新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、移動制限措置の導入により景気回復ペースが鈍化すると警戒が強まり上昇しました。終盤、株式市場が上昇するなどリスク選好の姿勢が強まったものの、比較的风险の高いイタリア国債などが上昇したほか、欧州中央銀行（ECB）理事会の議事要旨（10 月開催分）を受けて 12 月の理事会で追加金融緩和が決定されるとの期待が高まり上昇しました。

### 11 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
独 10 年国債	-0.571%付近	+0.056%

### 日本債券市場（国債）

日本の債券市場は、上昇しました（金利は低下）。

新型コロナウイルスのワクチンの早期実用化への期待が高まったことを受けて下落する局面はあったものの、国内でも感染者数が増加したことを受けて景気の先行きへの不透明感が強まり上昇しました。

### 11 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
日 10 年国債	0.032%付近	-0.010%

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## 11 月度の市場動向について

### 世界の為替市場についての概況

為替市場では、新型コロナウイルスのワクチンの早期実用化への期待が高まったことを受けてリスク選好の姿勢が強まったほか、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らいだことを受けてドルが下落しました。ユーロは、欧州で新型コロナウイルスの感染者数が増加したほか、欧州中央銀行（ECB）の追加金融緩和に対する期待が下落要因となったものの、対ドルや対円で上昇しました。

円は、世界的に新型コロナウイルスの感染者数が増加したことが上昇要因となったものの、新型コロナウイルスのワクチンの早期実用化への期待が高まったことを受けて下落しました。

### ドル・円

円はドルに対して上昇し、円高ドル安となりました。

序盤、株式市場が堅調に推移するなどリスク選好の姿勢が強まるなかで円が下落したものの、米大統領選挙でバイデン前副大統領が優勢となり、米大統領選挙を巡る混乱への警戒が和らいだことを受けてドルが大きく下落し、円高ドル安の展開となりました。中盤にかけて、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けて、円が一段と下落し円安ドル高の展開となりました。中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したものの、新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、移動制限措置の導入により景気回復ペースが鈍化すると警戒が強まり、円が上昇したことを受けて円高ドル安の展開となりました。終盤、米国の購買担当者景気指数（PMI）が市場予想を上回ったことを受けてドルが上昇し、円安ドル高の展開となりました。その後、バイデン次期米国大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、米国政治の不透明感が後退したことを受けてリスク選好の姿勢が強まり、ドルと円は共に下落して横ばいの展開となりました。

### ユーロ・円

円はユーロに対して下落し、円安ユーロ高となりました。

序盤、株式市場が堅調に推移するなどリスク選好の姿勢が強まって円が下落し、円安ユーロ高の展開となりました。中盤にかけて、ラガルド欧州中央銀行（ECB）総裁の発言を受けて ECB の追加金融緩和に対する期待が高まり、ユーロが軟調に推移したものの、米ファイザーと独ビオンテックが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したことを受けて、円が一段と下落し円安ユーロ高基調が継続しました。中盤、米モデルナが開発している新型コロナウイルスのワクチン候補が最終段階の治験で有望な結果を示したものの、新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、移動制限措置の導入により景気回復ペースが鈍化すると警戒が強まり、円が上昇したことを受けて円高ユーロ安の展開となりました。終盤、バイデン次期米国大統領への正式な政権移行プロセスが始動し、米国政治の不透明感が後退したことを受けてリスク選好の姿勢が強まり、円が下落したことで円安ユーロ高の展開となりました。

### 11 月度の概況

	レート*	月間騰落率
円／ドル	104.31	-0.33%（円高）
円／ユーロ	124.42	+2.04%（円安）
ユーロ／ドル	1.1927	+2.40%（ユーロ高）

\*レートは月末の米国東部標準時間 17 時のものです。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 11 月度運用レポート

 販売用資料  
2020.12.3

「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」

運用概況（2020年11月30日現在）

### 今月のマーケットと投資スタンス

【株式市場】新型コロナウイルスのワクチンの早期実用化に期待が高まったほか米国で政治的な不透明感が後退して上昇。

【債券市場】経済活動の低迷への懸念と新型コロナウイルスのワクチンの早期実用化に対する期待が交錯して方向感のない展開。

【為替市場】安全資産としての需要が低下したドルが下落し、ユーロが上昇。円も軟調に推移し、対ドルで円高、対ユーロで円安。

【投資スタンス】今月は、株式市場が上昇したことを受けて、中盤に株式・債券比率のリバランスを目的として株式ファンドの売却と債券ファンドの購入を行いました。また、積立などのご購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、債券ファンドの購入を行いました。

### ファンドマネジャーからの一言

今月は、株式に投資するファンドが全て上昇し、基準価額の上昇要因となりました。為替は、対ドルで円高、対ユーロで円安となり、基準価額の上昇要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆さまの長期的な資産形成に資することができるよう努めて参ります。

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照ください。

※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部長 瀬下 哲雄

図1 11月度の投資先ファンド価格の変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

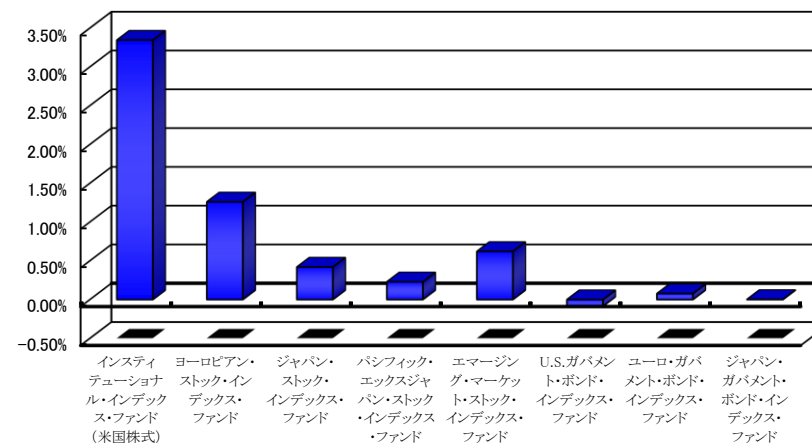
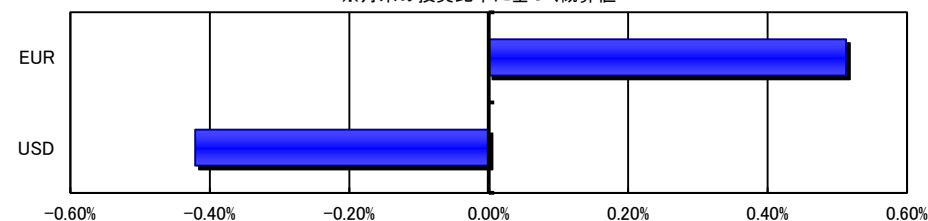


図2 11月度の為替変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値



※上記の表は、投資家の皆様へファンド基準価額の変動要因を簡潔に説明するため2020年11月30日現在の投資比率に基づき、ファンド及び為替レートの変動の影響を図示したものであり、実際の影響度合いとは異なります。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 11 月度運用レポート

### I：ファンドの基準価額と純資産総額の推移

2020 年 11 月 30 日現在の基準価額と純資産総額及び騰落率

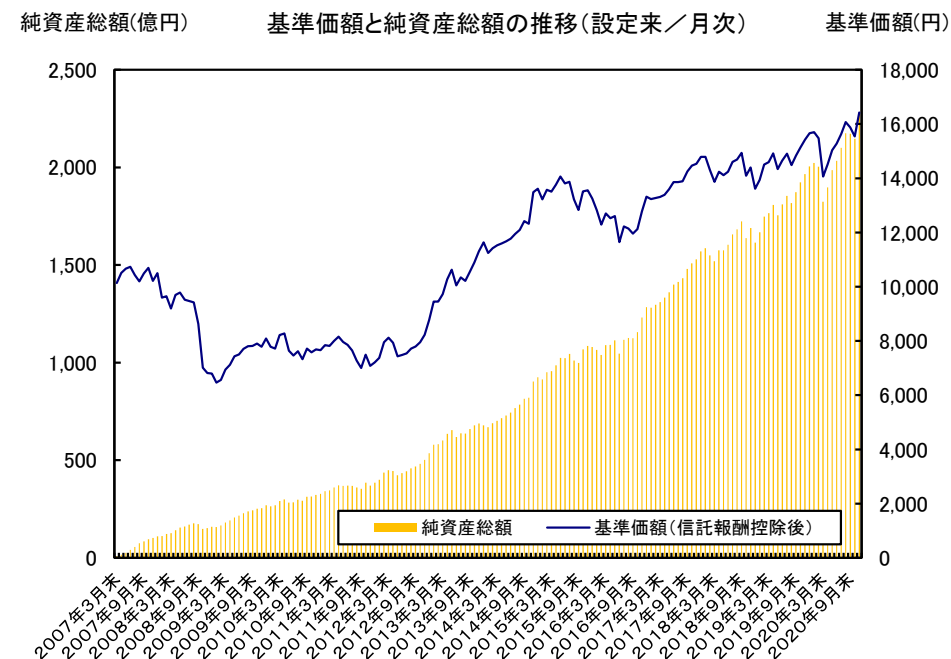
基準価額	16,429円
純資産総額	2,276億円

設定来騰落率	64.29%
過去1ヶ月間の騰落率	5.67%
過去6ヶ月間の騰落率	9.30%
過去1年間の騰落率	6.52%
過去3年間の騰落率	13.05%

\*基準価額は信託報酬控除後の数値です。騰落率は小数点第3位を四捨五入しています。

基準価額のハイライト（設定から 2020 年 11 月 30 日まで）

	基準価額	日付
設定来安値	6,275	2009年1月26日
設定来高値	16,474	2020年11月26日



当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 11 月度運用レポート

販売用資料  
2020.12.3

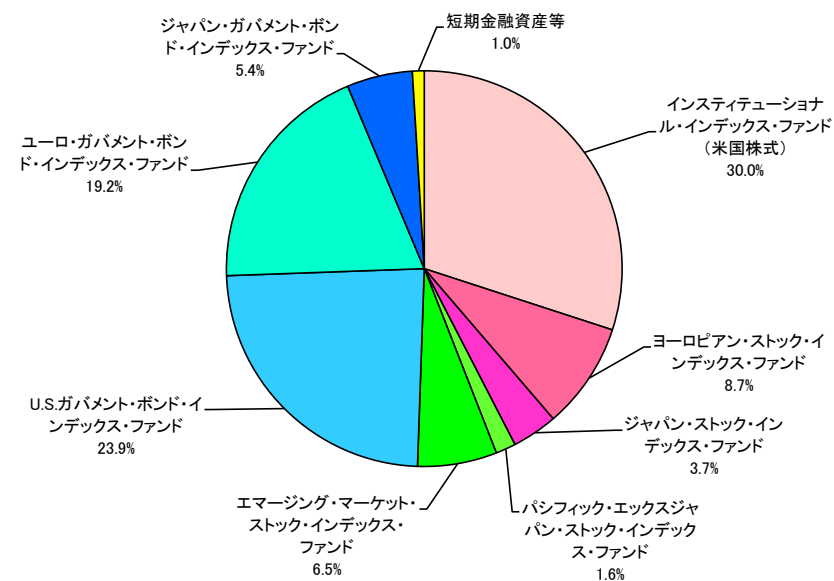
### Ⅱ：ファンド資産の状況（2020年11月30日現在）

#### 投資先ファンド別資産配分状況

ファンド名称	比率
インスティテューショナル・インデックス・ファンド（米国株式）	30.0%
ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	8.7%
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	3.7%
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	1.6%
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	6.5%
U.S.ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	23.9%
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	19.2%
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	5.4%
短期金融資産等	1.0%
合計	100.0%

※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

資産配分状況（2020年11月30日現在）



当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド  
 11月度運用レポート

 販売用資料  
 2020.12.3

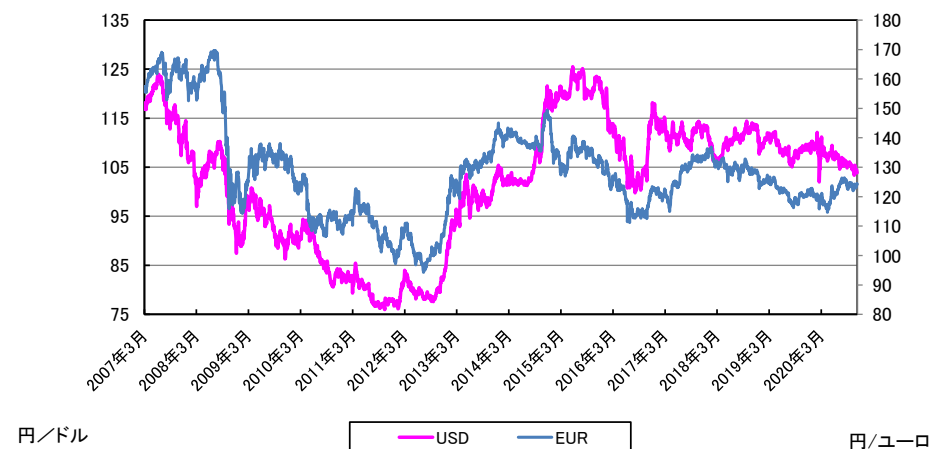
## Ⅲ：為替レートの推移

## 設定時からの為替レート

日付	円／ドル	円／ユーロ
2007年3月15日	117.27	155.09
2007年12月28日	114.15	166.66
2008年12月30日	91.03	127.96
2009年12月30日	92.10	132.00
2010年12月30日	81.49	107.90
2011年12月30日	77.74	100.71
2012年12月28日	86.58	114.71
2013年12月30日	105.39	145.05
2014年12月30日	120.55	146.54
2015年12月30日	120.61	131.77
2016年12月30日	116.49	122.70
2017年12月29日	113.00	134.94
2018年12月28日	111.00	127.00
2019年12月30日	109.56	122.54
2020年1月31日	109.06	120.30
2020年2月28日	109.43	120.32
2020年3月31日	108.83	119.55
2020年4月30日	106.87	116.00
2020年5月29日	107.53	119.13
2020年6月30日	107.74	121.08
2020年7月31日	104.60	124.13
2020年8月31日	105.36	125.47
2020年9月30日	105.80	124.17
2020年10月30日	104.60	122.14
2020年11月30日	103.89	124.38
変化率（設定来）	-11.41%	-19.80%
変化率（11月度）	-0.68%	1.83%

※変化率はプラスが円安、マイナスが円高。小数点第3位を四捨五入

## 2007年3月15日から2020年11月30日までの為替レートの推移



※投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して作成しています。

当ファンドは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 11 月度運用レポート

販売用資料  
2020.12.3

### IV：投資先ファンドの価格（円貨建て）

#### ① 主に株式へ投資するファンドの値

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2020 年 11 月 30 日現在の値

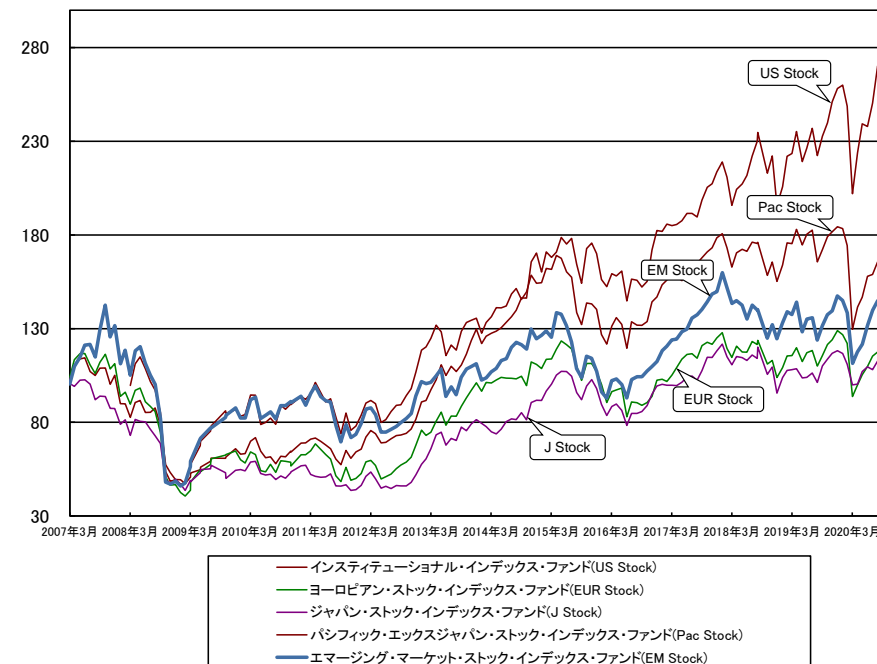
インスティテューショナル・インデックス・ファンド	278.5
ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド	123.7
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	125.4
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	180.7
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	157.6

2020 年 10 月 30 日の値を 100 とした場合の 2020 年 11 月 30 日現在の値（11 月の動き）

インスティテューショナル・インデックス・ファンド	110.4
ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド	116.6
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	111.3
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	113.2
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	108.8

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入

### 組入れ開始以来の投資先株式ファンドの値の推移（円貨建て）



エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド、ジャパン・ストック・インデックス・ファンドは 2007 年 3 月 23 日、パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンドは 2008 年 3 月 14 日、それ以外のファンドは 2007 年 3 月 19 日の値を 100 として算出しています。（インスティテューショナル・インデックス・ファンドの値は 2018 年 10 月 17 日までは U.S.500・ストック・インデックス・ファンドの値です。なお、インスティテューショナル・インデックス・ファンドの値は、税引き後の分配金を全て再投資したものととして算出しています。）価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です。）

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 11 月度運用レポート

### ② 主に債券へ投資するファンドの値

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2020 年 11 月 30 日現在の値

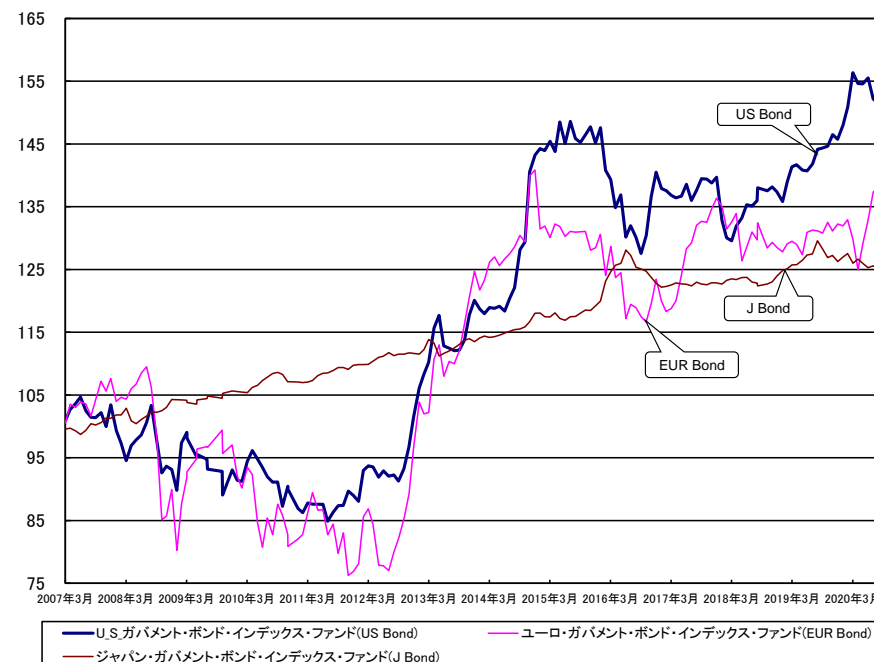
U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	148.8
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	140.2
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	125.3

2020 年 10 月 30 日の値を 100 とした場合の 2020 年 11 月 30 日現在の値（11 月の動き）

U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	99.0
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	102.2
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	100.0

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入

### 組入れ開始以来の投資先債券ファンドの値の推移（円貨建て）



ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドは 2007 年 3 月 23 日、それ以外のファンドは 2007 年 3 月 19 日の値を 100 として算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です。）

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。



## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 11 月度運用レポート

### ■ファンドの特色

#### ① 幅広いリスク分散

世界 30 ヶ国以上の株式と 10 ヶ国以上の債券に分散投資。リスクを分散して安定的な成果が期待できます。

#### ② 低コスト

購入時手数料ゼロ。購入時に余分なコストのかからないノーロードファンドです。長期の資産形成に特化することで、運営にかかる経費も抑えています。

#### ③ バンガード・グループのファンドに投資するファンド・オブ・ファンズ

バンガード・グループは世界最大級の運用会社です。ローコスト・ハイクオリティで定評があり、投資家の利益を守るため、長期投資の重要性を訴え続けています。

#### ④ 長期投資の為のファンド

長期のパフォーマンスを最優先するため、分配金は全て再投資します。

### ■投資方針

① 株式と債券の投資比率は、原則として 50 : 50 とします。

② 各地域の株式及び債券の時価総額（規模）を勘案し、投資先ファンドへの投資配分を決定いたします。配分比率は適宜見直しを行っていきます。

③ 原則として、為替ヘッジは行いません。

※資金動向、市場動向ならびに信託財産の規模等によっては上記の運用が出来ないこともあります。

### ■組入れファンドについて

#### ①バンガード・U.S.500 株式・インデックス・ファンド

ファンドの目的：S&P500 インデックスに連動する運用成果を目指します。

#### ②バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンド

ファンドの目的：S&P500 インデックスに連動する運用成果を目指します。

#### ③バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

ファンドの目的：MSCI ヨーロッパ・インデックスに連動する運用成果を目指します。対象となる構成国はベルギー、デンマーク、フランス、フィンランド、ドイツ、イタリア、オランダ、スペイン、スウェーデン、スイス、英国等です。

#### ④バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

ファンドの目的：MSCI ジャパン・インデックスに連動する運用成果を目指します。

#### ⑤バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

ファンドの目的：MSCI パシフィック・エクスジャパン・インデックスに連動する運用成果を目指します。対象となる構成国/地域は日本を除くアジア太平洋地域の先進国/地域（オーストラリア、香港、ニュージーランド、シンガポール）です。

#### ⑥バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

ファンドの目的：MSCI エマージング・マーケット・インデックスに連動する運用成果を目指します。対象となる構成国は欧州・アジア・アフリカ・ラテンアメリカ地域の新興市場国およびロシアです。

#### ⑦バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

ファンドの目的：ブルームバーグ・バークレイズ米国政府債浮動調整インデックス（米国債および米国政府機関債(米ドル建て・残存期間 1 年超)の時価総額加重インデックス) に連動する運用成果を目指します。

#### ⑧バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

ファンドの目的：ブルームバーグ・バークレイズ・ユーロ政府債浮動調整インデックス（ユーロ圏各国の発行する国債および政府機関債（ユーロ建て・残存期間 1 年超）の時価総額加重インデックス）に連動する運用成果を目指します。

#### ⑨バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

ファンドの目的：ブルームバーグ・バークレイズ日本政府債浮動調整インデックス（日本国政府および政府機関が発行する投資適格債券（円建て・残存期間 1 年超）の時価総額加重インデックス）に連動する運用成果を目指します。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## ■お申込みメモ

- 購入単位：販売会社が定める単位とします。
- 購入価額：購入申込受付日の翌々営業日の基準価額
- 換金単位：1口単位 ※販売会社により1円単位でのお申込みとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
- 換金価額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
- 換金代金：原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社において支払います。
- 購入・換金申込日：原則として、毎営業日に申込みを受付けます。ただし、ニューヨークの証券取引所休業日、ニューヨーク、アイルランドの銀行休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- 申込締切時間：原則として、午後3時までに受付けた申込み（当該申込みの受付に係る販売会社所定の事務手続きが完了したもの）を当日の申込みとします。
- 信託期間：無期限（設定日：2007年3月15日）
- 繰上償還：以下の場合には、法令および信託約款に定める手続きにしたがい、受託会社と合意のうえ、ファンドを償還することがあります。
  - ・受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合。
  - ・信託期間中において、ファンドを償還させることが受益者のために有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したとき。
 このほか、監督官庁よりファンドの償還の命令を受けたとき、委託会社の登録の取消・解散・業務廃止のときは、原則としてファンドを償還させます。
- 決算日：毎年12月10日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配：毎決算時（毎年12月10日の年1回。休業日の場合はその翌営業日。）に収益分配方針に基づき分配を行います。
  - ・委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
  - ・当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、所得税、復興特別所得税および地方税を控除した後、再投資されます。
- 課税関係：課税上は、株式投資信託として取り扱われます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、「NISA」（少額投資非課税制度）および「ジュニア NISA」（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。当ファンドは「つみたて NISA」（非課税累積投資契約に係る少額投資非課税制度）の適用対象です。  
※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。税法等が改正された場合には、上記内容が変更になる場合があります。

## ■当ファンドに係るリスクについて

### ◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド（以下、当ファンド）はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。（「価格変動リスク」）また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。（「為替変動リスク」）その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

### ◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 11 月度運用レポート

販売用資料  
2020.12.3

### ■当ファンドに係る費用について

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料：ありません。
- 信託財産留保額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に 0.1% の率を乗じた額が控除されます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用：ファンドの日々の純資産総額に年 0.506% (税抜 0.46%) の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客様にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 0.57%±0.02%程度 (税込) となります。※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。
- その他費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 (有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬 (消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、S&P500、S&P/ASX200 指数、S&P/BSE SENSEX インデックスは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) の商品です。これらの指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。

S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失 (収入の損失、利益の損失、機会費用を含む) について一切の責任を負いません。

MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は MSCI に帰属します。また、MSCI は指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

本文中のデータは、Bloomberg から取得しています。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む) 及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。したがって、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オプ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 349 号  
 加入協会：一般社団法人 投資信託協会  
 お客さま窓口：03-3988-8668  
 営業時間 9：00～17：00 (土日祝日、年末年始を除く)  
<https://www.saison-am.co.jp/>

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。